

NPO法人兵庫県腎友会会報誌

No.142
2018.10.20
Autumn

まほう



大石神社



赤穂市
イメージキャラクター
「陣たくん」



JR播州赤穂駅

特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840
ホームページ●<https://npohjk.or.jp/> E-mail●npohyojin@nifty.com

- | | | | | | |
|------------|-----------|------------------|-----------|--------------------|--------------------|
| ■阪神ブロック事務局 | 〒663-8215 | 西宮市今津水波町1-7 | ドミトリー高木1F | TEL.0798 (36) 9731 | FAX.0798 (36) 9732 |
| ■神戸ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7370 | FAX.078 (371) 8840 |
| ■東播ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7323 | FAX.078 (958) 7102 |
| ■西播ブロック事務局 | 〒672-8048 | 姫路市飾磨区三宅1-192 | 田中興産ビル6F | TEL.079 (285) 0577 | FAX.079 (287) 6038 |

認知症を知る

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは？」「認知症なのでは？」
「認知症ってなに？」と“認知症”に対する不安はだれもが持っていると思います。
恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



医療法人社団裕和会
長尾クリニック 院長
長尾 和宏 先生

●職歴

1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局
1991年 医学博士（大阪大学）授与 市立芦屋病院内科医長
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



第13回 「もの盗られ妄想」への対応

「嫁が財布を盗る」と訴える高齢女性が時々おられます。嫁がヘルパーさんであったり財布が宝石であったりもします。これは認知症の「もの盗られ妄想」で「被害妄想」のひとつです。私は、「それは大変でしたね。注意しときますからね」と言い、盗難を主張するご婦人の肩を持ちながら話題を全く別の方向に変えます。5分も話しているうちに盗難の訴えをしていたこと自体を忘れ、笑顔で自慢話に花を咲かせています。

そもそもこうした被害妄想はどう理解すればいいのでしょうか。そして何故「嫁」なのでしょう。そのためには認知症を「関係性の障害」として捉えなおす必要があります。関係性とは、人間関係とか夫婦関係とかいうように「人と人との関係」のこと。そもそも人の世にある関係性の多くには上下関係が伴います。たとえ家族や友人関係であっても微妙な上下関係が存在します。もし認知症の義母と嫁の間に知らず知らずの間に上下関係が生じた時、下になった側の心のどこかに必ず悔しい気持ち、可能なら逆転したいという感情が生じます。

お世話する人とされる人の間には知らぬ間に上下関係が生じがち。お世話される側が「ありがとうございます」を何度も言っているうちにマグマのような負の感情が蓄積されます。「いつかは自分もありがとうと言われたい」「上下関係を逆転させたい」という願望です。

固定した上下関係を逆転させる方法は簡単。自分が被害者になることです。そのためには、ものを盗られたと主張することが最も簡単な方法です。それが真実かどうかなどどうでもいい。嘘でもいいから自分が被害者になることで関係性を一挙に逆転できます。被害者になれば立場が上になります。これは認知症に限らず世間一般でもよく観察されます。被害妄想の正体は「関係性の逆襲」であることが多いです。ですからその人に薬を使うことは正しくありません。お嫁さんの関わり方を変えることが正解です。